

震災アーカイブの利活用拠点について

震災アーカイブ拠点の検討について

➤ 第5回委員会（平成26年2月3日）提示資料より抜粋

1 拠点に求められる機能

- 震災アーカイブの受付窓口
 - 震災アーカイブの閲覧機能
 - 各種資料などの展示
 - 記憶の継承、防災意識の醸成、防災・減災に資する多様なイベントの企画・開催
- ※市民活動との役割分担

2 拠点確保の考え方

- 交通アクセスや施設配置を考慮し、新設だけでなく既存施設のスペースの活用を検討

3 遺構との連携

- 遺構として保存を検討している「荒浜小学校校舎」などとの連携について検討

震災アーカイブの利活用について

■既存の震災アーカイブ関連事業 ※【参考資料】より抜粋

↑ 収集 ・ 保管 ・ 公開 編集 ・ 発信 ・ 活用 ↓	宮城県被災地域デジタル化推進事業
	3. 11 震災文庫
	フォトアーカイブ 東日本大震災― 仙台復興のキセキ
	資料レスキュー活動・市史編さん事業
	資料レスキュー活動・津波痕跡の発掘調査
	津波被災地域の民俗資料展示
	るねっ・サイエンス事業
	仙台市 震災記録誌
	オーラルヒストリー
	3がつ11にちをわすれないためにセンター
RE:プロジェクト	
国連防災世界会議 仙台開催実行委員会ホームページ	
伝える学校	

○アーカイブの方法、活用の手段

：収集、保管、公開、編集、発信、活用…

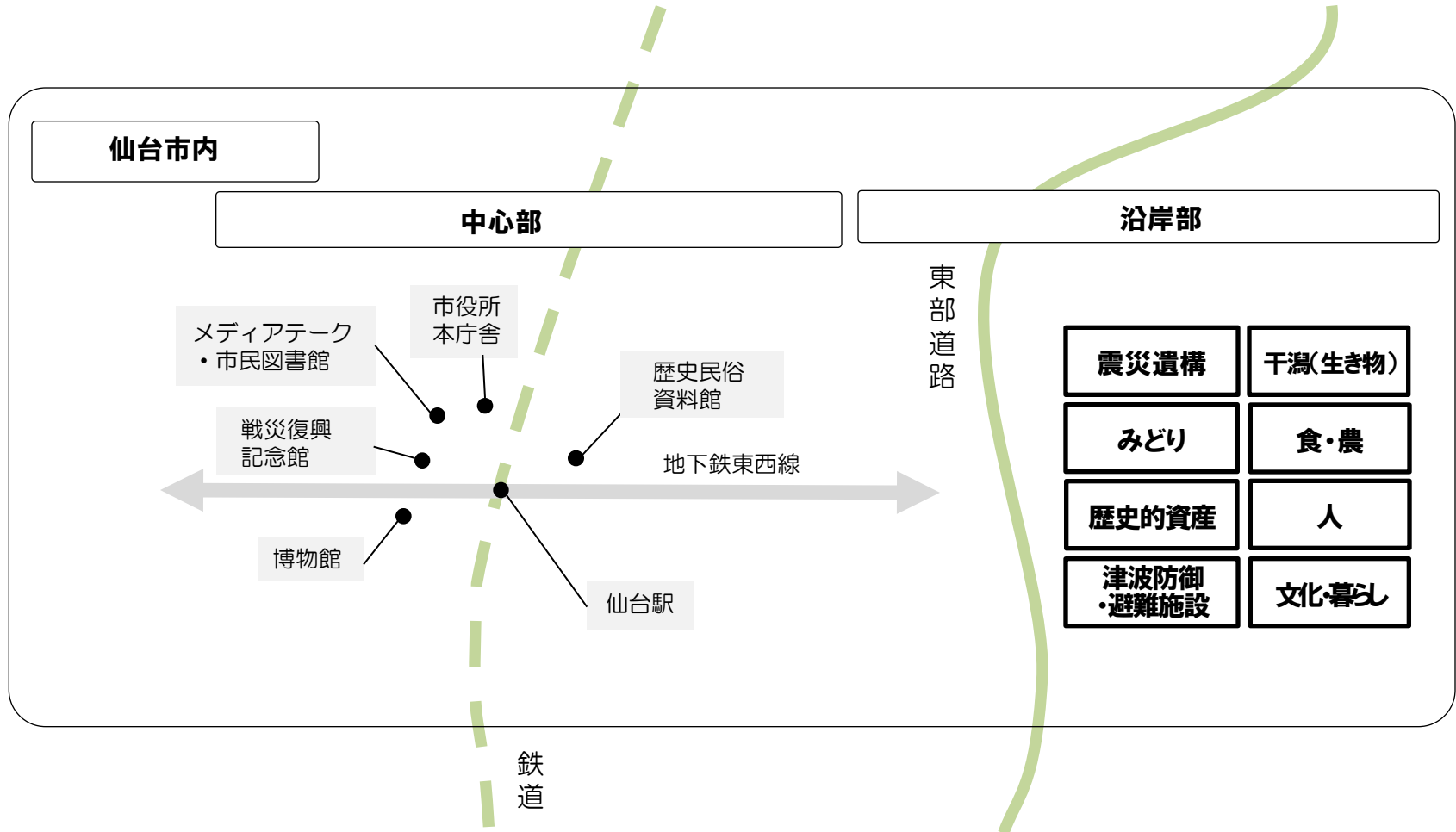
○アーカイブの対象の項目

：歴史・地域の営み、震災の状況

震災後の活動、復旧復興の取組み、教訓…

震災アーカイブ拠点の検討について

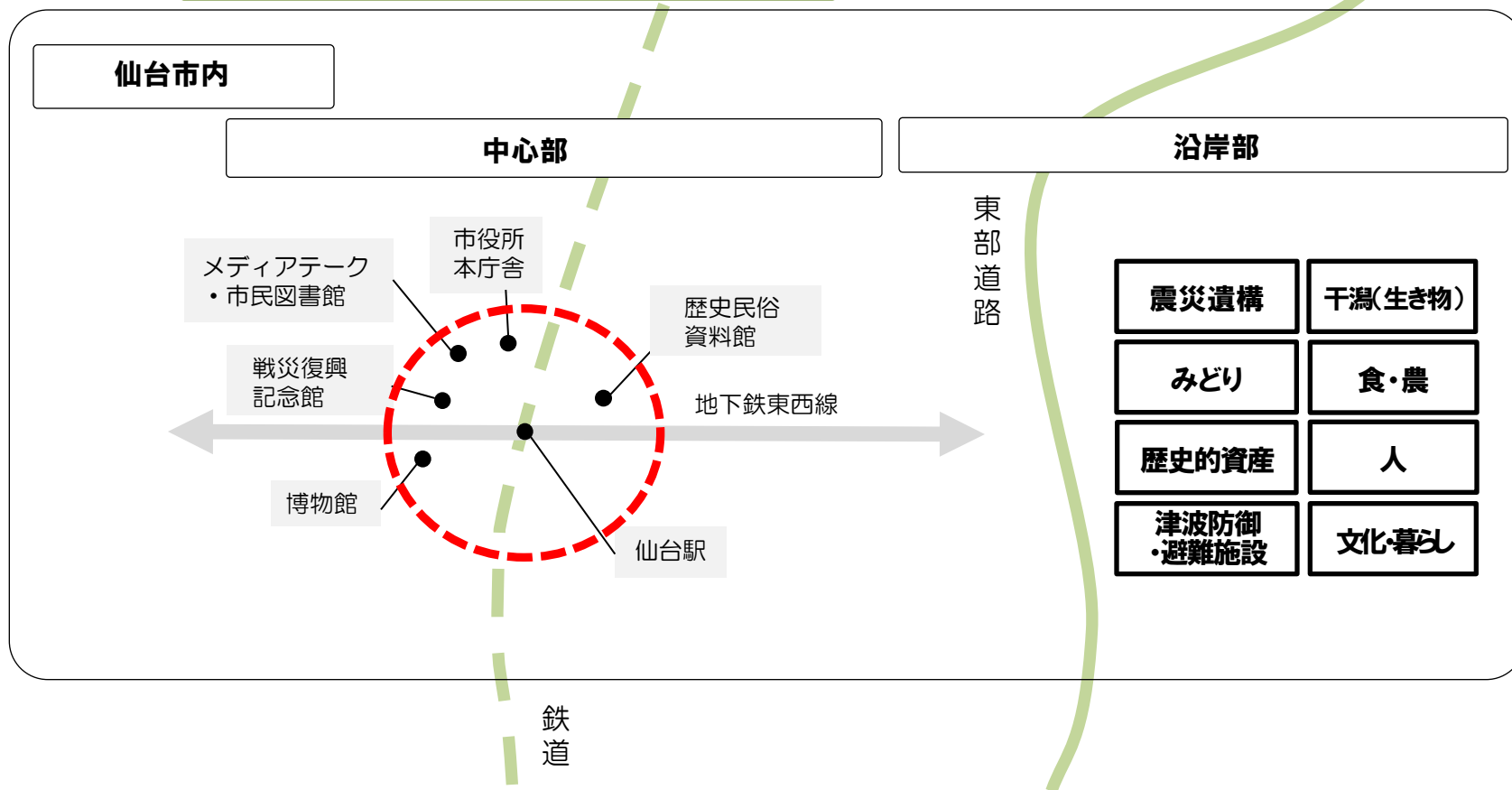
➤ アーカイブ等に関する既存施設・要素の配置



震災アーカイブ拠点の検討について

➤ アーカイブ等に関する既存施設・要素の配置

3. 11を収集・編集・発信する機能



伝え続けるための機能配置・拠点（案）

➤ 中心部・沿岸部、2地区での機能配置・拠点による継続的発信

<中心部の役割>

- ・東北、宮城の玄関口
- ・3.11を**収集・編集・発信**する機能

<沿岸部の役割>

- ・宮城、仙台東部地域への玄関口
- ・3.11を**知り学ぶ**拠点



ご議論いただきたいこと

【論点2】

①中心部と沿岸部の機能配置としていかがか

②沿岸部の利活用拠点をどのような場にすべきか

- 視点 沿岸部の利活用拠点へ、継続的に人が訪れるための仕掛けとして考えられることは何か

伝え続けるための機能配置・拠点（案）〔再掲〕

➤ 中心部・沿岸部、2地区での機能配置・拠点による継続的発信

<中心部の役割>

- ・東北、宮城の玄関口
- ・3.11を**収集・編集・発信**する機能

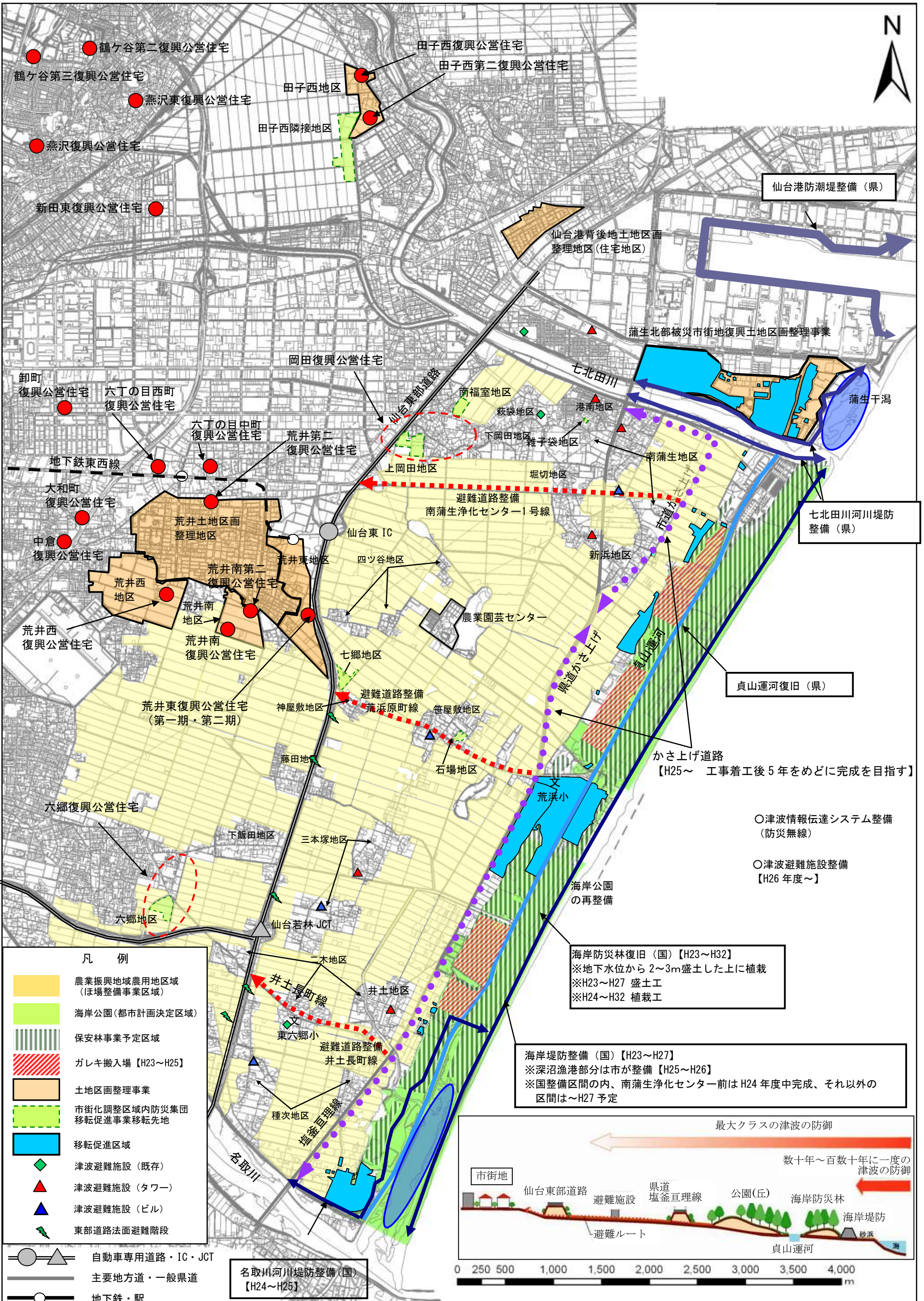
<沿岸部の役割>

- ・宮城、仙台東部地域への玄関口
- ・3.11を**知り学ぶ**拠点

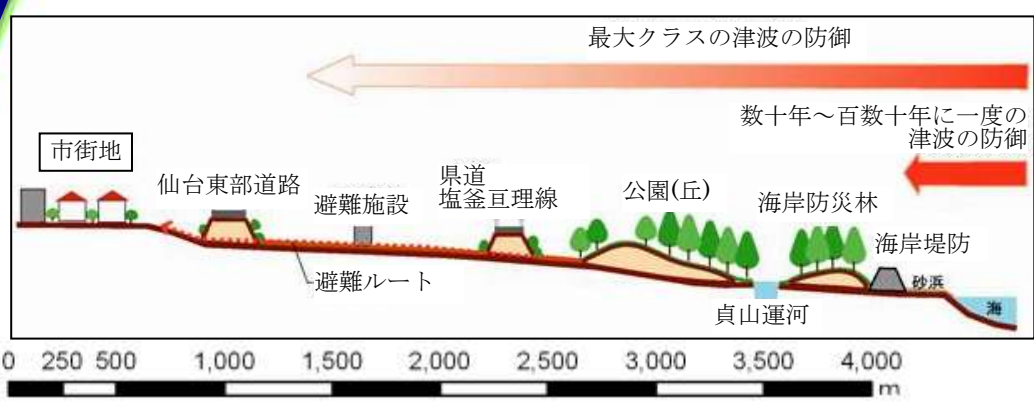


■ 東部地域で展開される復興関連事業

H26.6.3 現在



- 凡 例**
- 農業振興地域農用地区域 (ほ場整備事業区域)
 - 海岸公園(都市計画決定区域)
 - 保安林事業予定区域
 - ガレキ搬入場【H23~H25】
 - 土地区画整理事業
 - 市街化調整区域内防災集団移転促進事業移転先地
 - 移転促進区域
 - 津波避難施設(既存)
 - 津波避難施設(タワー)
 - 津波避難施設(ビル)
 - 東部道路路面避難階段
 - 自動車専用道路・IC・JCT
 - 主要地方道・一般県道
 - 地下鉄・駅



名取川河川堤防整備(国)【H24~H25】

海岸防災林復旧(国)【H23~H32】
 ※地下水位から2~3m盛土工
 ※H23~H27 盛土工
 ※H24~H32 植栽工

海岸堤防整備(国)【H23~H27】
 ※深沼漁港部分は市が整備【H25~H26】
 ※国整備区間内、南蒲生浄化センター前はH24年度中完成、それ以外の区間は~H27 予定

かさ上げ道路【H25~ 工事着工後5年をめどに完成を目指す】

貞山運河復旧(県)

七北田川河川堤防整備(県)

仙台港防潮堤整備(県)